

くめじま

議会だより

2021.9.1

No. 77

久米島小学校6年生が議会傍聴に来ました！



表紙の写真募集します

議会だよりを町民により身近な広報紙とするため、
表紙の写真を募集します。



募集内容

町内の四季折々の風景、イベント、自治体や学校等の行事などの写真をお寄せ下さい。
※被写体が人物の場合、必ず本人の承諾を得て下さい。
※謝礼はございません。詳しくは議会事務局まで

久米島町の人口・世帯数 (2021年6月末現在)

男	4,055人	女	3,573人
計	7,628人	世帯	4,012世帯

6月定例会

定例会・臨時会で
決まったこと 2~3P

町政を問う 一般質問 4~14P

議会傍聴の感想 15P

議会のうごき・編集後記 16P

// 定例会・臨時会

専決処分

- 久米島町税条例等の一部を改正する条例
地方税法等の一部改正する法律が令和3年4月1日から施行されたことに伴い、久米島町税条例等の一部を改正し同日から施行する必要がある。

委員の選任・任命

- 久米島町固定資産評価審査委員の選任 平田 明 氏
- 久米島町固定資産評価委員の選任 上原 厚 氏
- 教育委員会委員の任命 比嘉 淳 氏



教育長の任命

- 中村 幸雄 氏



陳情

- 採** 下阿嘉の土砂災害特別警戒区域の早急な防護対策に関する陳情



下阿嘉の土砂災害特別警戒区域現場調査
(建設経済委員会による調査)

- 後期高齢者医療制度窓口負担2割化の中止を求める意見書提出に関する陳情書
- 採一部** 認定特定非営利活動法人わらびの会（医療支援）に対する活動支援に対する陳情
一部採択理由：県内離島全てに関連する内容で、沖縄県離島振興協議会等で協議できるよう求めていくということで一部採択と決定した。

中間報告

- 久米島町議会議員定数削減について

定例会・臨時会で決まったこと

6月定例会

令和3年6月(第5回)定例会は、6月15日から17日の3日間の日程で行われ、議案3件、承認1件、報告2件、同意4件、陳情4件、意見書1件を審議した。11人が登壇し一般質問が行われた。

令和3年度補正予算

- 一般会計補正予算（第2号）
77億1,160万円
（1億1,006万円増）



条例の改正

- 久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律（令和3年法律第5号）が公布されたことに伴い久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する必要がある。



動産の買入れ

- 令和3年度久米島町堆肥積み付け機の購入及び設置業務
契約の方法 指名競争入札
買入の金額 22,110,000 円
契約の相手 株式会社 ヒサテクノ



報告

- 令和2年度久米島町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
繰越予定額 21事業 合計 5 億 8,890 万円
- 放棄した債権の報告について
債権の名称 町営住宅使用料
債権放棄した日 令和2年8月20日
債権放棄した理由 時効期間満了
債権放棄した金額 417,130 円

専決処分

- 令和2年第4回久米島町議会定例会で議案第37号を持って議決された「兼城ターミナル新築工事請負契約について」の一部変更の必要が生じたため、専決処分する。
契約金額中「186,670,000円」を「189,432,100円」に変更する。
- 令和2年第7回久米島町議会定例会で議案第49号を持って議決された「清水第1地区沈砂池設置工事(R2)請負契約について」の一部変更の必要が生じたため、専決処分する。
契約金額中「109,450,000円」を「110,322,300円」に変更する。
- 令和2年第9回久米島町議会定例会で議案第61号を持って議決された「久米島町防災情報システム整備工事請負契約について」の一部変更の必要が生じたため、専決処分する。
契約金額中「68,420,000円」を「67,024,100円」に変更する。

第6回臨時会

会期：令和3年7月7日

動産の買入れ

- 久米島町 GIGA スクール学習者用
端末購入

契約の方法 条件つき一般競争入札
買入の金額 22,330,000円
契約の相手 西日本電信電話株式会社
沖縄支店



本会議場の様子

議員提出

- 後期高齢者医療制度窓口負担2割化
の中止を求める意見書



第3回臨時会

会期：令和3年4月22日

議員提出

- 沖縄戦戦没者の遺骨等を含む可能性
のある土砂採取計画の断念を求める
意見書



第4回臨時会

会期：令和3年5月28日

令和3年度補正予算

- 一般会計補正予算（第1号）
76億154万円
（1億7,654万円増）



条例の改正

- 久米島町太陽光発電のための公共
施設の屋根等の使用に関する条例
第2次久米島町総合計画基本構想
における、再生可能エネルギーによるエネルギー
の自給率向上を図るため条例を制定する必要があ
る。



承認

- 久米島町高齢者コミュニティーセン
ターの指定管理者選定の専決処分
の承認について

施設の名称
久米島町高齢者コミュニティーセンター
団体の名称 社会福祉法人 心の会
指定期間 令和3年4月1日から
令和4年3月31日





幸地 猛 議員

一般質問 — 町政のいまを問う

問 森林計画による林業の振興を

答 人工林率県平均を目標に実施

幸地 町の森林計画が策定されているがこれまでの林業振興の進捗状況は。

町長 本町は、総面積6,350 haで、民有林面積は、2,360 ha、区域面積に占める森林率は37%となっている。人工林面積は281 haで人工林率は12%で県平均の14%よりやや低い値である。造林補助事業を活用し、これまで人工造林や保育等の造林整備を積極的に実施している。

環境保全課長 町において昭和53年から補助事業による造林実績が、全体面積で71.5 ha実施している。防風林の植栽も平行して行っている関係で、ここ数年造林事業が滞っている。南部林業事務所が、久米島全体を踏査して調査しているのので、具体的な森林計画に基づいて、県平均の人工林率14%を目標に実施していく。

幸地 本町の将来の貴重な財産としてイヌマキ（チャーギ）の植林を推進していく考えはないか伺う。

町長 将来必要となる材木の供給に向け、適切な森林整備が実施できるよう、イヌマキの植林に取り組んでいく。将来を見据えての事業になるので、県と連携をとりながら進めていく。

問 景観計画の推進は

答 久米島らしい景観の形成や保全に取り組む

幸地 平成24年に制定された久米島町景観計画の中で景観形成重点地区の5地区について、これまでの進捗状況と今後の事業推進を伺う。

町長 景観形成重点地区、美崎地区、仲地の棚田地区、イーフリゾート地区、奥武地区、新興通り周辺地区の5地区を重点地区と位置づけ久米島らしい景観の形成に全力で取り組んでいる。具体的な施策として、瓦屋根設備助成事業を行っている。建築物や工作物の新築、増築、改築等の届け出に際し、良好な景観形成に取り組む。観光振興基本計画と連携しながら景観形成の推進に努めていく。

幸地 イーフリゾート地区の推進を。JA(株)くみき久米島出張所の場所はイーフ地区の発展に最も重要な場所と考える。(株)くみき久米島出張所の移転等について町の考えを伺う。

産業振興課長 平成29年にJAと競り市場とくみきの件で協議した経緯がある。当時価格の面で折り合いがつか

かなかつた。競り市場の一部に駐車場を造る予定もあるのので今後JAと調整しながら進めていく。

町長 以前にJAにお願いした経緯もある。将来的にはイーフ地区は観光リゾート地として一角を担って欲しい。くみきにおいては競り市場の一角でやれば、屋内を使つての展示会もできるので条件としていい。今後JAに申し入れをしていきたい。



久米島らしい景観形成の推進を景観形成重点地区（イーフリゾート地区）



盛本 實 議員

問 限りある農地の有効活用を

答 農地中間管理事業の活用を進める

盛本 平成23年度に中止になった儀間川総合開発事業の関連事業により進めていたタイ原ダム整備に伴い国に買収された土地（農地を含む）が約3万7千坪ある。同地は現在遊休化の状況にある。町として農業政策を進めていく上で支障にならないのか伺う。

町長 遊休農地を解消する為、土地の所有者である国に対して、農地中間管理事業の活用を引き続きお願いしていく。

問 海岸線沿いの漂着ゴミ処理による観光振興とSDGsへの取り組みを

答 補助事業、単独事業により回収処理を行っている

盛本 漂着ゴミは、回収、

分別、処理のすべてにおいて課題があるが、持続可能な観光地を目指す意味でも、このゴミ問題は避けては通れない。また、この問題を解決することによって世界規模で進めているSDGs持続可能な開発目標への一翼を担えるのではないかと思われる。今後の取り組みは。

町長 漂着ゴミは、毎年補助事業で対応している。また令和2年度から町単独事業でも、回収分別処理を実施している。民間団体等ボランティアにより回収した漂着ゴミの処理も小型焼却炉で対応できるようになった。本町は美しい自然に恵まれており、今後ともゴミのない島づくりに邁進する。

問 スポーツツーリズムによる地域活性化を

答 楽天キャンプの再開及び各種スポーツ大会誘致に向けて取り組む

盛本 久米島町スポーツコンベンションは定期的な会議等、具体的な活動が無く新たなスポーツイベントの開催、合宿の誘致が進んでないのが現状である。そこで結果の出せる組織となるべく久米島町スポーツコンベンションの再構築を行い、再出発することが望ましいと思うが町長の考えを伺う。

町長 久米島町スポーツコンベンション推進協議会は、スポーツ交流人口の拡大による地域活性化を目的に平成26年度に発足した。設立目的が達成できるよう、引き続き構成団体との連携を強化し、楽天キャンプの再開に向けた取り組みをはじめ各種スポーツ大会の誘致

など、アフターコロナを見据えた取り組みを行う。

問 主要道路の適正管理を

答 道路機能を維持するために必要な対応を行う

盛本 産業道路・生活道路としての重要度が高い飛行場跡線であるが管理が行き届いていない。現状として機能面、環境面での低下に繋がっている。今後の対応について伺う。

町長 台風や波浪等の影響により、当該路線が塩害及び漂着物等の被害が出ている事は事実である。今後とも道路機能を維持する為に必要な対応を行っていく。



真栄平 建正 議員

問 久米糖(株)の操業延長による農家への補償、支援は

答 久米糖(株)、JAと協力し支援する

真栄平 損害額の算出、補償など可能か。

産業振興課長 損害額の算出はできないと久米糖から回答があった。補償は農家と久米糖、メーカーが直接契約を交わしていないので補償はできないと顧問弁護士からの回答。

真栄平 春植え作付時期の遅れによる減量は実証されており、減量推定値の算出は可能と考える。顧問弁護士からの回答は口頭であったとしているが、文面で回答を得るべき。

産業振興課長 文書で回答を得られるか、弁護士と相談したい。

真栄平 町は久米糖の株主。株主の権利義務として会社の利益追求(町経済)、株主自身の利益追求(町民、農家)がある。農家が損害を被っている、株主として求償をすべき。どのような取

り組みをしたか。

総務課長 どのような取り組みができるか検討する。

問 バーデハウスの再開時期は

答 公募準備の段階

真栄平 遅れの原因と、今後の計画は。

町長 本年度4月に公募、9月末までに再開すると12月議会で説明した。民間提案制度の運用は高度な専門知識が必要であり、公募までに期間を要するため、専門家とアドバイザー委託契約を締結し体制を整える。

真栄平 委託業務の内容は。

商工観光課長 制度の導入、運用、進捗、民間提案の採択、事業化に向けた助言等。

真栄平 民間提案制度は全般的に高度な専門知識を必要としており、最も重要な事業者選定審査も専門家の判断が必要。審査委員会も外部専門家を主体とした審査委員会とすべき。

町長 内部主体の審査委員会とし、外部の力を借りて進める。

真栄平 何故、外部専門家を主体とした審査委員会ではだめなのか全く理解できない。今後、経済団体、常任委員会等で議論したい。

問 仲里歯科診療所の早期再開を

答 新型コロナウイルスのため、関係機関と未調整

真栄平 町長が閉院を知ったのはいつか。

町長 令和2年5月。

真栄平 一年以上経って全く進展がない。また、①

久米島病院への常設、② 具志川歯科診療所の機能強化、③ 仲里歯科診療所を運営する医師を確保するとの方針であるが、①と③は長期間要する。②は具志川歯科診療所の老朽化、現医師との調整が不透明であり早期実現は困難。早期再開は町民が最も望んでいることであり、町営での仲里歯科診療所の再開が現実的で早期再開につながる。

福祉課長 町営では民営圧迫となり、適切ではないと考えている。

真栄平 現久米島の人口で2診療所でも十分に需要を満たすことはできず、民営圧迫とはいえない。黒字化も十分可能といわれている。早期再開に向けて町営も検討すべき。



宇江原 総清 議員

問 鳥島射爆撃場の早期返還を

答 国等に要請している

宇江原 岸防衛大臣が「台湾海峡で有事が起こる事自体他人事ではなくなる」と発言。これは台湾有事あれば日本も参戦との趣旨だ。

米国のインド太平洋司令官は、台湾への脅威は六年以内に明白と、米会議で証言。

年間二千億円の思いやり予算という沖縄植民地政策は、再び捨て石にする事だ。町

長へ伺う。①台湾有事の際は、日本参戦の可能性は高いと考えるか。②奄美馬毛

島から沖縄本島、久米島を含む琉球弧がミサイルの長

城とならないのか。③島をコンクリートで覆う、いわ

ゆる石棺の実現を国に求めるか。④島の環境汚染に関

する米公文書の翻訳は。

町長 ①と②について、有

事が発生しないよう、政府

で不断の外交努力すべき。

③島をコンクリートで覆う事は現実的でない。④引き

続き公的機関から入手できるようにしたい。

宇江原 台湾有事は、政府

が不断の外交努力との事だが、風を読んでいない。G

7は結束して中国と対抗。貿易戦争、戦略拡大の様相

は第二次大戦前と類似。

町長 サミットの枠組で平和は維持できる。

宇江原 台湾有事でも米国は本気で戦争はできない。

一五二〇発の劣化ウラン弾を撃ち込んだ。矢ヶ崎克馬

元教授が島の近海から高濃度の放射性物質を検出した。

この島を危険だと米公文書に存在等々。明らかに被曝

だ。鳥島の石棺を。

問

国立公園構想とコンクリ護岸の撤去の取り組みを

答 環境省及び県と連携で取り組む

宇江原 沖縄奄美世界遺産

にICZN登録勧告。今後に向けて、自然再生のための

河川再生戦略を上げた。国立公園構想と河川、海浜の

コンクリ護岸について伺う。

①河川等の三面コンクリ護岸を造らせているが、国立

公園構想に適當か。②コンクリ護岸は生物多様性を破

壊、海の磯焼けをもたらし、海の生物を減少させる事を

認識しているか。③国立公園についてどのようなビ

ジョンを持っているか。

町長 ①環境省が調査。②環境影響評価等がないため、

影響は把握してない。③環境省及び県と連携し、取り組みたい。

宇江原 錢田川の流域で三

面コンクリの河川改修中だが、三面コンクリでは、川

の藻が育たない。海へのミネラルや腐植土が送れない。

そのため磯焼けを起こす。

今、島の若い人達がモズク

漁にいそしみ増えているよ

うだが、モズクもだんだん

小さくなってくる。磯焼け

が起き魚介類が衰退する。その理由から、前の錢田川

改修の際、県設計の矢板打ち込み工法から、石積み傾

斜にした設計へ変更させた。加えて、五名の契約反対者

も説得、美栄橋から上の方も石積みすると県から了解

も取り付けたいきさつがある。

町長 県は、用地確保ができないとの事。

宇江原 これは町長がうそをついているか、県がだましをしたかだ。三面コン

クリではアタビー（カエル）もない。



富永 肇 議員

一般質問——町政のこころを問う

問 町の防災体制は

答 総合的、計画的な体制の構築

富永 東日本大震災から今年で10年の節目を迎えた。

甚大な被害は今なお復興の途中にある。その後も国内では多くの自然災害が起き被害を受けた。本町も災害に強い町、人づくりが大事である。町の防災体制は。

町長 町地域防災計画に基づき、総合的、計画的な防災体制の構築を図る。

富永 本町の合同防災訓練の評価と課題は。

総務課長 防災訓練の質の向上。避難訓練終了後に町長を本部長とし、各対策部会で意見や反省会を踏まえ次の訓練で取り組む。

富永 町民の防災意識の向上と情報の周知は。

総務課長 ホームページや防災マップの配布、FMくめじまと連携し情報の発信に努める。

富永 消防職員、消防団体が被災した場合、島外と

の協力は。

消防長 沖縄県消防総合応援協定に基づき近隣の市町村消防に出動要請をする。

富永 一人一人の防災意識の向上が、一人も被害を出さない町になる。過去の大規模災害の教訓を踏まえ行政、町民、共に取り組む体制を構築して頂きたい。

問 学校施設長寿命化計画は

答 莫大な予算が必要

富永 長寿命化計画でどのような状況にあるか。

教育長 小中学校の老朽化が進んでおり、小中学校8校のまま整備及び維持管理に年平均3.5億の費用が必要であり、予算の確保は厳しい状況である。

富永 今後の児童生徒の推移と学習環境は。

教育長 今後十年は大きな変動はないが、減少傾向である。学習環境の制度や授業、児童間の交流活動にも支障が出ると予想。町の財政状況や教育的な観点からも学校統廃合等を検討する時期に来ている。

富永 各小中学校は地域性豊かな特色ある学校である。地域のコミュニティの場でもあり統廃合ありきの検討ではなく、色々な観点から幅広く意見を聞いて検討して頂きたい。今現在、老朽化した校舎の危険箇所の整備に早急な対策は。

町長 単費を投じてでも安全確保のため、一刻も早く整備する必要がある。統廃合は地域の意見をしっかりと拝聴し、検討していく。

問 窓口対応、要望の取り扱いは

答 接遇研修を実施

富永 窓口対応、要望等の取り扱いマニュアルはあるか。

総務課長 マニュアルはない。職員の接遇研修を外部から講師を招いて実施している。マニュアルの策定は必要ではあると意見もある。

町長 町民対応は常に管理職が部下を管理し指示できるような環境を作るように言っている。住民に迷惑をかけないよう対処する。

富永 町民が気軽に足を運び、何でも相談できる環境が大事である。親切、丁寧、親身な対応が町民の信頼を得る。町民にとって親近感と安心感のある町役場となるよう取り組んでもらいたい。



棚原 哲也 議員

問 深層水の揚水増設の進捗は

答 令和4年に揚水ルート、施設規模事業等まとめる

一般質問 — 町政のいまを問う

棚原 調査事業の発注はなされているか。

プロジェクト推進課長 沖縄防衛局と事前審査、ヒアリングを行っている。早めに交付申請、委託業務を発注したい。

棚原 県との調整漁港用地の使用、取水経路は。

プロジェクト推進課長 今回の調査で全体計画を確定、県と調整し取水場所を決定したい。

棚原 調査費3分の2の国の予算は確保されているか。

プロジェクト推進課長 3月内示を頂き、補助金交付申請を防衛局に行く検討をしている。

棚原 裏負担分4,000万円、県が出すよう町として要請したか。

プロジェクト推進課長 裏負担分、深層水全体事業に関し県知事に要請を行っている。

棚原 県が持たない場合、調整費の3分の1、約4,000万円、町は負担できるか。

町長 調査事業は国の予算が要求も終わっている。負担分は町が一般財源を使って負担する準備を進めている。

棚原 温度差発電も含めて国に要望要求していくか。

プロジェクト推進課長 今回全体事業の中で取水管と養殖施設で申請している。エネルギー関係の事業は活用できる補助金等あればエントリーしたい。

棚原 新たな導水管を引くのであれば美崎地区の説明会をやってもらわないと協力も得られない。どう考えるか。

プロジェクト推進課長 地元の協力は必要になってくる。次年度にかけて全体計画の案ができたとき地元説明会を

行いたい。

棚原 令和元年度、国に要請している。改めて国に要請行動を起こしたほうがいいと思う。

町長 前は、国の採択が確認できない状況の中実施。再要請を検討する。

問 町道飛行場城跡線の整備を。全面開通に向けての取り組み状況は
答 地権者の承認が得られれば事業採択に向け県と協議したい



増設計画が進められる海洋深層水関連施設



整備が求められる具志川漁港

問 具志川漁港の今後の取り扱いは
答 具志川漁港は限られた時期の使用となっており整備は利用状況を勘案し検討する



新垣 幸子 議員

問 早急な歯科診療所の開設を

答 財政面で現時点では非常に厳しい

新垣 歯科受診状況を早急に調査し、町民の経済損失や困り感を把握することを目的としたアンケートを実施した。用紙回収140件、ネット回答155件の合計295件で回収率が16.8%になっている。予想以上に反響が大きく、叫びにも似た切実なる町民の声が上がっている。再開院の必要性は268件。295件中90・8%の世帯が必要としている。また、島外歯科受診にかかる費用としては、世帯内患者と付き添いの方の治療費、交通費、宿泊費、食事代、仕事を休んだ場合等の世帯数が155世帯、合計金額3,363万5,200円となっている。意見、要望で多数を占めたのが、①早めに歯科診療所を開設してほしい。②技術のある頼れる歯科医師、整備が整った歯科医院を望む。

この2つで約7割を占めている。③小児歯科の強化、④渡航費の補助、⑤公立久米島病院に歯科口腔外科を設置してほしい、との要望である。副町長、町民の声の感想は。

副町長 町としてもできるだけ1日でも早く歯科診療所を開設できるよう取り組みたい。

新垣 歯科診療における公設民営の本来のあるべき姿は。

町長 事業の委託ではなく建設・設備投資以外は完全な民営方式をとってきた。今後もその方針である。

新垣 公設民営の本来の意味は、「施設の権限や責任を町が持ち、歯科医院の運営のみを民間に委託するもの」である。診療機器などの予算措置や相談体制については。

町長 副知事が本町を視察

して現場を把握し、いろいろな調査をして最終的な判断をしたいと言っている。

新垣 町民は協力的な歯科医師を心待ちにしている。話し合いを持つことが重要であるが。

福祉課長 話し合いは必要だと思っている。

新垣 旧仲里歯科診療所の改築など考えているか。

町長 県の公立久米島病院の一角に増設してできないかという提案をしており、財政の問題もあり現時点で非常に厳しい。

新垣 町長の施策方針に仲里歯科診療所の早期再開とあるが具体的な目標は。

町長 公立久米島病院に増設できないかや、期間がかかるとなれば、渡航費補助について議会や財政と相談しながら考えていきたい。

新垣 町民は、歯科医院の早期開設を願っている。

る。歯科医院の場所の選定は、旧法務局の建物を活用することを強く要望したい。建物が頑丈に造られていて、2階は住居として使用できると聞いている。駐車場も設置されて最適である。それから、歯科医師を含めた事業チームを立ち上げ進めたい。歯科診療所の開院は早くなることを考える。



旧法務局の建物



喜久里 猛 議員

問 製糖終了遅れ、来期に向けてどう取り組むか

答 種苗や農薬購入の補助を行う

喜久里 5月12日にきび搬入が終了した。農家との信頼関係を維持するために行政としての対応は。

町長 影響を受けた農家に對し、町、JA、久米島製糖(株)とで、春植種苗、農薬購入の補助を行う。

喜久里 春植えの1か月遅れの損害額は4,000万円の差が出ると聞いている。農家に対する久米糖単独の補助を要望できないか。

町長 これまでもさとうきび振興協議会で意見交換も行っている。会社対機器メーカーとの介入は行政としては非常に難しい面がある。

喜久里 1,000人近くいるきび農家のために、もっと頑張つてほしい。

産業振興課長 今回は夏植えに対する除草剤、堆肥投入の補助も行う。

喜久里 町は久米糖の株を所有しているか。株主総会

一般質問 — 町政のいろいろを問う

の方で、役員に把握してもらうためにも、これまでの経緯等を発言してほしい。

副町長 株を所有しており、株主総会は9月頃開催予定である。今回は参加して意見を述べたい。

問 天然モズク不作は日照不足が原因。調査は毎年行っている。

喜久里 今期は例年になり不作である。その原因は調査はしたか。

町長 沖縄海洋技術センターで毎年、気温・水温・水質・日照等調査を行っている。過去最高の水揚げを記録した平成30年以降は、春先の悪天候や日照不足等の影響により減少傾向にある。

喜久里 調査の場所はどこか。

産業振興課長 奥武島の南側、灯台近くの御願崎付近。2ポイントで観測している。

喜久里 モズクは久米島の地場産業の要になってきた。自然による不作だが、この自然をどうにか利用できないか。天然モズクがとれる鳥島辺りにも水温計や日照計等設置し、記録に基づいて出荷、生産調整できないか。

産業振興課長 漁協とも情報交換し、天然モズクがとれる場所や調査をデータに基づいてできるシステム導入を要望していきたい。



コロナワクチン接種会場(具志川改善センター)

問 コロナワクチン、希望者全員接種できるような体制は町内の医療機関との調整、沖縄本島の医療機関からの協力を得ながら希望者全員接種できるような体制を整えている

答



東江 浩明 議員

問 離島留学生受け入れ対応と基準体制は

答 留学生保護者、里親、島親等連携強化

東江 離島留学生応募受け入れ選考担当課は。面接官は何人か。

じんぶん館長 企画財政課が担当で、事務処理は、じんぶん館で行っている。

選考面接官は5名で行い、面接通過後に離島留学運営委員会へ提出をする流れとなっている。

東江 ハウスマスター地域おこし協力隊3名配置し、学校や保護者、島親との連携サポートなど多岐にわたる活動行っているとあるが、具体的内容は。

じんぶん館長 コロナ禍の影響もあり制約受けての中で、島親身元引受人との交流会、感謝祭、蛍の観察会、星空観察等々予定として今取り組んでいる。

東江 留学生アルバイト問題、規約があるか説明を。

じんぶん館長 アルバイト規則があり、原則禁止。

経済事情が厳しいという家庭は、経済負担を軽減する理由で、保護者から申出申請があれば受付をし、保護者同席面接を行って許可する流れを取っている。

東江 里親制度で受け入れしている離島留学生も同じか。

じんぶん館長 里親制度で久米島に来ており、実親の負担もあると思うので、同じように保護者から申出面談しながら進めていく認識。

東江 今後の離島留学生増員に向け、町営寮の新設計画を検討してはどうか。

町長 全員受け入れたいが地元の生徒とのバランス、学校の構成いろんな要素があると思う。人口減少に歯止めをかけるにも非常にいい手立てであるので、含めて考えていきたいと思っています。

東江 離島留学生今後応募

募地沖縄本島、久米島周辺離島地域への対応対策は。

企画財政課長 渡名喜島からの留学生もおり、離島と連携して呼びかけていきたい。



増設が求められる町営寮じんぶん館

問 新型コロナウイルス
ス今後の対策と対応

答 財政確認し対応
検討

東江 今後、久米島空港内においてPCR検査場予定はあるか。

商工観光課長 県から意見聴取がありまだ明確になっていない。宮古、石垣は、水際対策を先行して実施されている状況。

東江 応援プロジェクトに当てはまらない業種は銀行、金融公庫特別貸付申請等、資金調達に大変苦労している状況状況であり、多数相談を受けた。久米島町独自による特別貸付金として積立基金を活用できないか。

町長 基金等、法に則った目的の基金である。使えるのと使えないのがあり、財政担当課に対応を検討させる。



吉永 浩 議員

問 新型コロナ対策は

答 早急できめ細やかな対応

吉永 コロナ禍の、イベント開催は。

町長 イベント開催は県のガイドラインに基づき、各自治体の判断。

吉永 イベント開催可否は感染拡大防止等対策のとりにみ次第。確実な取り組みの進捗チェックが必要だが。

町長 コロナ対策予算は担当でチェックし、取り組みは商工会と連携。

吉永 発熱時など子ども達や親の不安も広がる。学校対応は。

教育課長 子ども達が感染者となった場合でも、即休校ではない。発生した時期、接触状況等により判断。県の学校PCR支援チームとの連携で迅速に対応できる体制を作っている。

吉永 経済対策など、支援制度の情報が届かず制度活用できなかった事例が発生している。一番苦しい時

期に、必要な町民が必要な制度をしっかりと活用できる支援体制を。

福祉課長 町民への情報をきめ細かに提供していく。

問 ふるさと納税の推進は

答 積極的に獲得していきたい

吉永 地域産業の応援にも繋がる返礼品。今後の取り組みは。

町長 PRに力を入れ、事業者訪問など新たな返礼品及び事業者の開拓に努める。企業版ふるさと納税も推進していく。

吉永 コロナ禍、同ポータルサイト活用自治体では、74%の自治体がある。消費額の共感を集め、寄付して頂く取り組みを担当課

から提案しては。

企画財政課長 商品のPR、掲載の仕方など工夫がもつと必要と考える。

吉永 本町は企業版含むふるさと納税の伸びしろがある。積極的にPRを。

企画財政課長 各産業の可能性を踏まえ積極的に寄付を獲得していきたい。

問 SDGsと総合計画
答 SDGsを物差しとして計画を進める

吉永 広報5月号にて、総合計画を進めながらSDGsを推進するこの記事があったが。

町長 持続可能な自治体であり続けるために、後期基本計画ではSDGsの理念を取り入れ、まちづくりと一体的に取り組む。

吉永 総合計画の中でSDGsを推進する体制をどうつくるか。

企画財政課長 職員意識・執行部の意識が重要。総合計画の各項目。計画を実施する際には常にSDGsを物差しとして職員の意識改革を図る。

吉永 学校におけるSDGs教育は。

教育長 新しい学習指導要領で持続可能な社会の作り手育成がある。各学校の裁量に任されているが本町では体験を含め学習がなされている。

吉永 総合計画もSDGsも町民との協働がなければ進まない。町民にSDGsを理解していただく取り組みは。

企画財政課長 意識が高い子ども達も含め、感化された大人も一緒に取り組んでいけるような進め方ができないかと考える。



赤嶺 秀徳 議員

一般質問——町政のこころを問う

問 バス停の整備は

答 順次、整備予定

赤嶺 令和元年度から現在までのバス停の整備進捗状況は。

町長

令和元年度上屋設置1件、ベンチ設置3件、ベンチの修繕1件を行った。

赤嶺 久米島高校前の上屋設置の進捗状況は。

商工観光課長 地権者から事業協力に係る同意書を得て県南部土木事務所に提出、用地交渉と順を追って進めて行く予定。

問 小中学校洋式トイレ設置率は

答 小中学校設置率平均45・5%

赤嶺 町内小中学校の洋式トイレの設置率は。

教育長 小学校33・3%、中学校73・7%、平均45・5%となっている。

赤嶺 改修等の進捗状況

は。

教育課長 各学校のトイレ設置箇所洋式トイレが設置されていない箇所を優先し継続実施予定。

赤嶺 洋式に改修後の子供たちの反響は。

教育長 本町の調査ではないが、洋式トイレに改修してからは、トイレを我慢することが減り学習に集中するようになったとの報告がある。

問 歯科医院の開院は

答 常設歯科を県に要請

赤嶺 閉院後、歯科医院再開に向けた取り組みの進捗状況は。

町長 公立久米島病院に常設歯科の標榜追加を県に要請、現存歯科医院の機能強

化と連携の推進、歯科診療所を経営する歯科医師の確保を進める3つの方針である。

赤嶺 公立病院への常設の用途は何年頃か。

福祉課長 まだ始まっていないので用途は立っていない。

赤嶺 現状での常設歯科は可能か。

福祉課長 離島医療組合にも議員から要望が出ている。副知事の久米島視察による判断を待つて可能かどうか進めていく。



昨年閉院となった旧仲里歯科診療所

9月定例会議会の傍聴へ行こう!!

定例会は9月6日(月)~13日(月)開会予定

日程の詳細は久米島町議会ホームページをご覧ください。

※感染症予防の対策を行いながらの傍聴となり、傍聴人数の制限があります。

仲里庁舎1階にて一般質問の様子をテレビモニターでもご覧いただけます。

久米島小学校6年生が本会議を傍聴しました

6月17日(木)に久米島小学校6年生が社会科の授業の一環で、本会議の傍聴に来ました。傍聴した児童の感想文をご紹介します。(一部抜粋)



みんな熱心に聞いてノートに書き留めていました

議会に行ったことがないので、少しわくわくした。議会では、質問しあったりしていた。たくさん久米島のことについて話していた。久米島を良くしたいと考える人がいていいと思った。

(佐久田栄太さん)

久米島をよくしようという一つの思いで、たくさん質問をしていて、議員さんたちのおかげもあって久米島は良くなっているのではないかなと思った。そして、資料を事前に配ってから発言していたのを見て、まちがいがいよう気を付けていたので、私もまちがいのない発言を議員さんたちのようにできるようになればいいなと思った。でも女性の議員さんが少ない事を感じ、もっと増えれば、たくさんの立場から意見をみてよりよい意見になると思った。(小林愛子さん)

社会の時間の時とちがって決まった人が質問すると分かった。それに議長側のみんな久米島のえらい人ばかりいたので議会ってというのはこんなにすごいんだなと思った。また行く機会があればもう1回行きたい。(比嘉貴人さん)

初めて分かったことがたくさんあった。それは、大きな話し合いみたいで、議長が司会で、みんなが話すというより、質問者、議長、町長、館長など決まった人がしゃべっていて、他の人はしゃべらないと分かった。他にも、発言時間があることも分かった。議会はあまり見られないので、この体験を何かに生かしたい。(宇久里佑真さん)

社会で事前学習をして、実際に見てみると、ハーリーやすもうなどの行事をする際に、コロナウイルスのことも心配して話をしていて。また、久米島マラソンをオンラインでやってはどうかということを話し合っていて、これからどういう風に問題を解決したらいいかを考えていて、とても町のことを考えて議論しているんだなと思った。(仲宗根星斗さん)

コロナや離島留学生などのお話をしていて、議員の人は、自分たちが気にしていない所・気がつかなかったことなど質問をしていて色々な視点から物事を見れてすごいと思った。また、質問された人も明確に答えていた。議会は町が行う仕事やそのために使う費用など最も大切な会議なので、それを生で見れたのでとてもいい体験をしたと思った。

久米島小学校6年生の皆さんありがとうございました。
議会傍聴が子どもたちにとって久米島町のまちづくりに関心を抱く
きっかけになれば幸いです。

久米島町議会では、児童・生徒の議会傍聴をお待ちしています。
ぜひ議場へお越しください。

